

(2) 平成21年度主要な施策

◆第4次生涯学習推進計画の策定

…………… 1, 188千円

市民の生涯学習に係る施策の総合的な推進計画として、生涯学習推進審議会の答申等により、平成22年度からの第4次生涯学習推進計画を策定する。

◆たちかわ市民交流大学運営事業

…………… 6, 935千円

生涯学習からはじまるまちづくり、市民力で創る生涯学習の推進を図るため、企画運営委員会・評価委員会を市民参加で進めるとともに、定期的な事業の情報提供を行う。また、市民参加組織である市民推進委員会の市民企画講座や、企画公募に応じて公益的な内容の講座を提案実施する団体の団体企画型講座へ運営費を助成する。

◆生涯学習市民リーダー登録制度事務

…………… 119千円

市民の自主的な生涯学習活動の促進を図るため、様々な学習分野や文化、スポーツなどの分野で専門的な知識・経験・技術を持つ市民が登録する生涯学習市民リーダー制度の活用に向けた取り組みを強化する。

◆学習等供用施設管理運営

…………… 77, 869千円

地域性を生かした特色あるコミュニティの場として活用するため、指定管理者制度を生かし、地域住民のニーズに対応した会館の管理運営を行う。

◆ハヶ岳山荘の管理運営

…………… 60, 227千円

効率的な管理運営とサービスの向上を図るため、平成21年度から指定管理者制度を導入し、小中学生の自然教室・移動教室や青少年団体の自然体験施設、市民の保養施設として運営する。なお、平成21年度からは、宿泊日数の変更や市外居住者への施設利用を認めるなど施設利用の拡充を行う。



◆学校教育振興基本計画(仮称)

…………… 0千円

市の教育目標に基づき、今後の立川市が目指す学校教育のあり方や、総合的かつ計画的に取り組むべき施策について、学校と市、教育委員会が連携して「学校教育振興基本計画(仮称)」を策定する。

◆学齢簿管理及び就学援助システムの更新

…………… 1, 263千円

円滑な事業運営を図るため、老朽化した学齢簿管理及び就学援助システムのソフトウェアと機器の更新を行う。

◆適応指導教室事業

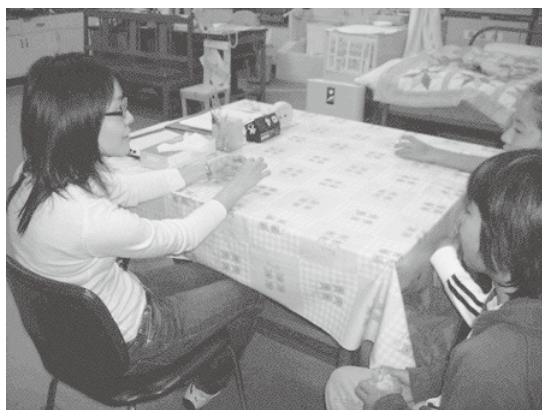
…………… 3, 433千円

不登校など、学校不適応傾向にある児童・生徒に対し、学校への復帰を図るため、小学校適応指導教室、中学校適応指導教室を設置し、通級による指導を行う。

◆ハートフルフレンド

…………… 8, 134千円

不登校の未然防止を図るため、学校不適応傾向にある児童・生徒の遊び相手や相談相手として、小中学校全校に心理学等専攻の大学院生等をハートフルフレンドとして派遣する。



子どもの相談相手として活動するハートフルフレンド

◆特別支援教育

…………… 28, 772千円

学習障害(LD)、注意欠陥多動性障害(ADHD)、高機能自閉症等を含めて、支援を必要とする児童・生徒の一人ひとりの教育ニーズを把握し、適切な対応を行う。また、新たに改修した特別支援教育等施設(旧錦児童館)で、特別支援教育を実施する。

◆学力の向上

…………… 42, 190千円

児童・生徒の個人差に応じたきめ細やかな指導の充実を図るため、学力向上・少人数指導員を配置し少人数指導を行うとともに、学力向上推進校を指定するなど学力向上推進事業を実施する。また、小学校理科支援員や外国語指導助手(ALT)を配置し、授業の充実と理解度の向上を図る。

◆教育事業事務

…………… 122, 665千円

学校の教育活動を円滑に推進するため、学校運営や学級運営、校内研究等について様々な支援を行う。

〈学校生活協力員の配置〉 小学校入学当初に、人数の多い学級に約2か月間協力員を配置し、児童の学校生活への適応を促し、落ち着いて授業を受ける体制を整える。

〈中学校部活動事業〉 外部指導員制度や緊急派遣指導員、サポーター制度を継続実施し、生徒の部活動を支援する。

〈学校図書館支援指導員事業〉 小学校全校に司書有資格者を配置し、読書活動の充実や子どもが主体的に学校図書館を利用するための基盤づくりを行う。



知的空間・憩いの場の学校図書館

〈特色ある学校づくり〉 特色ある学校づくり等に必要な経費を、校内研究や活動内容に応じて、2段階に区分し各学校に交付する。

◆学校図書館の整備

…………… 25,763千円

豊かな心の教育を推進するため、小中学校図書館の図書を整備するとともに、学校図書館システムの拡充により、蔵書管理と適切な蔵書構成を維持できる環境を整え、学校図書館の利用向上を図る。

◆新学習指導要領対応教材等(教育用備品・消耗品)の整備

…………… 123,554千円

平成21年度から先行実施する新学習指導要領に対応する教育環境を提供するため、教材・教具を整備する。

◆小中学校施設営繕

…………… 104,169千円

快適かつ安全・安心な教育環境を確保するため、小中学校施設設備等の整備(営繕工事及び修繕)を行う。

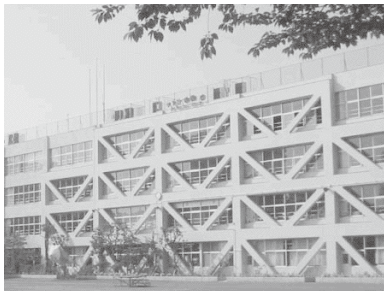
◆小中学校施設改修事業

…………… 285,082千円

快適かつ安全・安心な教育環境を確保するため、小学校水飲栓直結給水化事業、小学校インターフォン設置工事など各小中学校施設等を改修する。

◆小中学校校舎耐震補強事業

…………… 856,268千円



児童・生徒の安全・安心な学校生活を確保するとともに、地域の防災拠点としての役割を果たすため、小中学校校舎耐震化推進計画に基づき、小中学校の校舎耐震補強工事等を実施する。

◆第一小学校建替事業

…………… 5,131千円

第一小学校の建替えに向けて、「第一小学校建替検討協議会」を設置し、地域に根ざした学校建設を市民参加で検討し、マスタープランの策定を行う。



第1回第一小学校建替検討協議会を開催

◆中学校給食事業

…………… 24,825千円

中学校給食事業の円滑な運営を図るため、生徒の給食予約管理、献立編成及び給食費の管理などのシステムを更新する。

◆食教育支援指導事業

…………… 2,081千円

児童・生徒に「食」の重要性を認識させるため、学校栄養士が学級担任等と連携し、食に関する授業等を支援する。

◆新学校給食共同調理場(仮称)整備運営事業
…………… 15, 221千円

第一及び第二学校給食共同調理場の老朽化対策と運営の効率化を図るため、統合した新学校給食共同調理場(仮称)の建設に向けて、平成21年度は実施方針の検討、公表を行うとともに、要求水準書や契約書(案)を作成する。

◆生涯学習活動事業
…………… 149, 158千円

障害者、高齢者、成人、子どもを対象にした各事業のほか、地域学習館まつりや視聴覚事業、平和・人権学習、催物等を実施し、市民に多様な学習の機会と場を提供する。

また、市民交流大学市民推進委員会が自主的・主体的に企画し、地域学習館において実施する事業について協働で運営する。

◆図書館の運営
…………… 533, 786千円

多様化・高度化している利用者の要求に応え、資料の充実を図るとともに、インターネットによる情報提供を行い、効率的な運営を行う。また、ハンディキャップのある方への音訳資料の作成に向けて、デジタル化を進めるとともに、登録音訳者の高齢化に備え、新たに音訳者の養成講座(初級・中級)を実施する。



中央図書館の情報検索コーナー

◆子どもの読書活動の推進
…………… 1, 404千円

すべての子どもが、あらゆる機会とあらゆる場所において、自主的に読書を行うことができるよう、市民と市が協働して、子どもの読書環境の整備を進めるため、事業を行う。

◆第68回国民体育大会の開催準備
…………… 8, 820千円

平成25年に東京で開催される第68回国民体育大会に伴う施設改修に係る基本計画を策定するとともに、組織体制の構築を図る。

◆スポーツを通じた健康づくり
…………… 43, 055千円

市民の健康体力づくりや生涯スポーツの機会を提供するため、場の確保や、各種スポーツ教室の実施、学校体育施設の地域開放を推進する。

◆体育館・屋外体育施設の管理運営
…………… 382, 161千円

スポーツを通して、市民生活にうるおいと豊かさの実現を図るため、快適で安全にスポーツを楽しむことができる施設を提供する。



たちかわ中央公園(サンサンロード北)内のスケートパーク